

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020・122500
-----	-----	-------	-------	---------	---------------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	農業企業化資金利子補給事業補助金			補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠				農業企業化資金助成規則	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先				めぐみの農業協同組合	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						(5)個人に対する補助金・負担金
						(6)その他
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	融資機関(めぐみの農協)			に対して	
	手段	予算の範囲内で利子に対して助成			を行うことで	
	受益者	融資機関から資金の貸付を受けた農業者			が(を)	
	意図	農業経営の近代化及び農業後継者の育成に資する			という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	～	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	昭和 53 年度	
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体	○その他(非該当)		
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○補助・負担率を定めている→補助率	借入残高の1%
	207	144	84	196	単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	その他()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	○決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	農業後継者の育成のため必要である。
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	施設資金等の融通を円滑にするため、これを継続したい。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	農業者の資本装備の高度化を図ることの役割は大きい。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	農業経営基盤強化資金利子補給事業補助金		補助金等の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	農業経営基盤強化資金利子助成交付要綱		<input type="radio"/> (2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3) 一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5) 個人に対する補助金・負担金	
				(6) その他	
③支出先	(株) 日本政策金融公庫				
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		<input type="radio"/> 県の負担あり	負担割合	県の支出分	負担額
⑤支出の目的	対象	融資機関			に対して
	手段	予算の範囲内で利子に対して助成			を行うことで
	受益者	融資機関から資金の貸付を受けた農業者			が(を)
	意図	効率的かつ安定的な農業経営の支援及び育成を図る			という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	~	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 10 年度
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input type="radio"/> その他 (非該当)		
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	<input type="radio"/> 補助・負担率を定めている→補助率	借入金の0.15%
	24	17	11	6	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
	<input type="checkbox"/> 定額補助・負担		<input type="checkbox"/> その他 ()			
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	<input type="radio"/> 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題	
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	農業後継者の育成のため必要である。
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	施設資金等の融通を円滑にするため、これを継続したい。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	農業者の資本装備の高度化を図ることの役割は大きい。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	近年、資金借入者が少なくなってきたおり、助成金額も減少している。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	生産調整推進事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
②支出の根拠	関市農林業振興補助金交付要綱				
③支出先	関市農事改良組合連絡協議会				
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市農事改良組合連絡協議会		に対して	
	手段	奨励作物・地域営農推進活動の助成		を行うことで	
	受益者	地域の農業者		が(を)	
	意図	生産調整を円滑かつ効率的推進及び転作田の高度利用と担い手の育成確保を推進する		という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	～	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	昭和 63 年度
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ()
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	2,107	2,253	2,431	2,550	○単価を定めている→算式	10,000円/10a等
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	2,431千円	R3歳出決算額	2,431千円	翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合	100.0%	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	地域営農の推進を図るため、生産調整に向けた各農事改良組合を活用した会議の回数を増やす。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	いちご優良種苗育成事業補助金		補助金等の分類	○ (1)一般補助金(団体等への補助金など)	
②支出の根拠	関市農林業振興補助金交付要綱			○ (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
③支出先	中濃いちご生産組合			○ (3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				○ (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				○ (5)個人に対する補助金・負担金	
				○ (6)その他	
④国・県の負担	○ なし	国の負担あり	負担割合		負担額 千円
		県の負担あり	負担割合		負担額 千円
⑤支出の目的	対象	中濃いちご生産組合			に対して
	手段	いちごの優良親苗代金の一部補助			を行うことで
	受益者	組合に加入する農家			が(を)
	意図	いちご優良種苗確保による品質向上、いちごの振興及び産地規模拡大を図り、市場における有利販売ができる			という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	～	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	昭和 53 年度
⑦事務局体制	主に市の担当課		○ 主に支出先団体	その他 ()	
⑧構成員の負担	負担なし		○ 負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	49	41	52	150	○ 単価を定めている→算式	@20円/1本
					定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	522 千円	R3歳入決算額	522 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		10.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	新規栽培農家の確保と担い手農家の育成が求められる。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	里芋産地育成事業補助金		補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠			関市農林業振興補助金交付要綱	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先			中濃里芋生産組合	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
					(5)個人に対する補助金・負担金
					(6)その他
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	中濃里芋生産組合			に対して
	手段	里芋種購入費の一部補助			を行うことで
	受益者	組合に加入する農家			が(を)
	意図	地域特産である円空里芋の有利販売と農業所得の向上を目指す			という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	~	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 元 年度
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体	その他 ()
⑧構成員の負担	負担なし		○	負担あり	負担額 あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	種芋:1/2
	133	79	342	329		単価を定めている→算式	
						定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	683 千円		R3歳出決算額	683 千円		翌年度繰越額 0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		50.1 %		決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	新規栽培農家の確保と担い手農家の育成が求められる。			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	なす産地育成事業補助金		補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
②支出の根拠	関市農林業振興補助金交付要綱				
③支出先	中濃夏秋茄子生産出荷組合				
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	中濃夏秋茄子生産出荷組合関市支部		に対して	
	手段	苗木購入代金の一部補助		を行うことで	
	受益者	組合に加入する農家		が(を)	
	意図	優良苗木の確保による品質の向上と夏秋茄子の振興及び産地規模の拡大を図り、市場で有利に販売できる		という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	～	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	昭和 58 年度
⑦事務局体制	主に市の担当課	○	主に支出先団体	その他 ()	
⑧構成員の負担	負担なし	○	負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	88	85	83	120	○ 単価を定めている→算式	1本あたり20円
					定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	954 千円	R3歳出決算額	954 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		8.7 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	新規栽培農家の確保と担い手農家の育成が求められる。			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市ゆず生産振興事業補助金		補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	関市農林業振興補助金交付要綱			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	かみのほゆず株式会社			(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	かみのほゆず株式会社			に対して
	手段	ゆず苗購入費、有機肥料購入費の一部補助			を行うことで
	受益者	ゆず栽培農家			が(を)
	意図	ゆずの産地化を形成し品質の向上を図る			という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 13 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課	○主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	負担なし	○負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	141	0	104	141	○単価を定めている→算式	1本につき300円等
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	229 千円	R3歳出決算額	229 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合	45.4 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	ゆずの需要は年々増加傾向にあるため、生産量確保するため生産農家の育成が急務となっている。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市茶生産振興事業補助金			補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠 関市農林業振興補助金交付要綱				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
					(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先 津保茶生産組合				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
					(5)個人に対する補助金・負担金		
	④国・県の負担				○なし	国の負担あり	負担割合
				県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	津保茶生産組合			に対して		
	手段	茶肥料等の購入額の一部補助			を行うことで		
	受益者	茶の栽培農家			が(を)		
	意図	茶の品質を向上させ産地形成を図る			という状態にする		
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	~	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 17 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	負担なし		○	負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	購入額の1/3(限度あり)	
	20	27	14	200		単価を定めている→算式		
	定額補助・負担		その他 ()					
②過去における見直し状況								
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	42千円		R3歳出決算額	42千円		翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		33.3%		決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	会員の高齢化が進み、茶の栽培管理が厳しくなっているため、新たな担い手の育成が求められる。			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	農産物生産加工組織活動支援補助金				補助金等の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
						(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠					関市農林業振興事業補助金交付要綱	(3) 一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先					農産物生産加工組織	(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
							(5) 個人に対する補助金・負担金
							(6) その他
④国・県の負担	○ なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	農産物生産加工組織				に対して	
	手段	事業経費の一部補助				を行うことで	
	受益者	農家				が(を)	
	意図	農産物の生産・消費拡大と所得の向上を図る				という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	~	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 27 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	負担なし		○	負担あり	負担額	平成村入会金 あたり 10,000 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	事業費×1/2(上限あり)
	200	0	0	600		単価を定めている→算式	
	定額補助・負担		その他 ()				
②過去における見直し状況							
③支出先の決算状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円	
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	農家への農産物加工への周知活動を進める。			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	園芸特産振興連絡協議会補助金				補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
	②支出の根拠 関市農林業振興補助金交付要綱					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先 関市園芸特産振興連絡協議会					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						(5)個人に対する補助金・負担金
	(6)その他					
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市園芸特産振興連絡協議会				に対して
	手段	農産物残留農薬検査・廃プラスチック処理費の一部補助				を行うことで
	受益者	協議会に加入する生産農家				が(を)
	意図	生産地の信頼を高めるとともに生活環境の保全に努め、農業経営を安定させる				という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日				補助・負担開始年度	平成 19 年度
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体		その他 ()
⑧構成員の負担	負担なし		○	負担あり		負担額 あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	1/2等
	343	469	396	594		単価を定めている→算式	
	定額補助・負担		その他 ()				
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	982 千円		R3歳出決算額	982 千円		翌年度繰越額 0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		40.3 %		決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)				

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市農産物残留農薬自主検査支援事業補助金		補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)			
	②支出の根拠	関市農産物残留農薬自主検査支援事業補助金交付要綱		(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)			
		③支出先		ぎふクリーン農業生産登録者		(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
④国・県の負担	なし	国の負担あり	負担割合		負担額		千円
		県の負担あり	負担割合	1/2	負担額	65	千円
⑤支出の目的	対象	ぎふクリーン農業生産登録の更新を行うため、ぎふクリーン農業生産登録者			に対して		
	手段	更新用件である残留農薬自主検査を実施する費用の一部補助			を行うことで		
	受益者	生産登録者			が(を)		
	意図	安全・安心・健康な農産物の安定的な供給を図る			という状態にする		
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 20 年度			
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	○	その他 (中濃農林農業普及課)		
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	検査料の1/4(限度あり)	
	0	32	14	85		単価を定めている→算式		
						定額補助・負担	その他 ()	
②過去における見直し状況								
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	66千円		R3歳出決算額	66千円		翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		21.2%		決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	生産登録者(農家)が、まだまだ少なく生産農業者に向けた周知が必要と考える。			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	環境保全型農業直接支払事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
②支出の根拠	関市農林業振興補助金交付要綱					
	一定の条件を満たす農業者及び農業者を組織する団体					
③支出先	一定の条件を満たす農業者及び農業者を組織する団体					
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/> 国の負担あり	負担割合	1/2	負担額	94千円
		<input type="radio"/> 県の負担あり	負担割合	1/4	負担額	47千円
⑤支出の目的	対象	一定の条件を満たす農業者及び農業者を組織する団体				に対して
	手段	農業生産に由来する環境負荷を軽減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い農業生産活動				を行うことで
	受益者	農業者及び農業者を組織する団体				が(を)
	意図	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い農業生産活動を支援を図る				という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	~	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度		年度
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input checked="" type="radio"/> その他	(非該当)		
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	<input type="radio"/> 補助・負担率を定めている→補助率	
	106	164	188	188	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
					<input type="checkbox"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	188千円	R3歳出決算額	188千円	翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		100.0%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	ビニールハウス設置事業				補助金等の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
	②支出の根拠 関市農業用ビニールハウス設置事業補助金交付要綱					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先 農業者等					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						○(5)個人に対する補助金・負担金
						(6)その他
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	市内に住所及び農地を有する農家等				に対して
	手段	ビニールハウスの資材購入費に対する補助金の支出				を行うことで
	受益者	取組農家等				が(を)
	意図	経営の安定、品質向上及び生産拡大を図る				という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	～	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 25 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体		○	その他 (非該当)
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	1/4	
	149	36	200	200		単価を定めている→算式		
						定額補助・負担	その他 ()	
②過去における見直し状況								
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	5,307千円		R3歳出決算額	5,307千円		翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		3.8%		決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)	年々活用額が減少しているため、更に幅広い周知が必要である。			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	機構集積協力金交付事業				補助金等の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)
	②支出の根拠 関市機構集積協力金交付要綱					(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						(3) 一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先 農地の所有者及びその地域の代表					(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						(5) 個人に対する補助金・負担金
	④国・県の負担					なし
○ 県の負担あり 負担割合					10/10	負担額
⑤支出の目的	対象	農地の提供者及びその地域の代表			に対して	
	手段	農地中間管理機構を介した農地の利用権設定による協力金の交付			を行うことで	
	受益者	農業の担い手			が(を)	
	意図	営農面積の集積・集約化により、効率化及びコスト低減化を図ることで農業経営安定を図る			という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 26 年度			
⑦事務局体制	主に市の担当課	主に支出先団体	○ その他 (非該当)			
⑧構成員の負担	○ 負担なし	負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○ 補助・負担率を定めている→補助率	10/10
	3,575	24	204	1,350	単価を定めている→算式	
	定額補助・負担		その他 ()			
②過去における見直し状況						
③支出先の決算状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	○ 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	営農面積の集積・集約化を進めるため、担い手へ説明会をおこなう。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	元気な農業産地構造改革支援事業補助金		補助金等の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
				(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3) 一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5) 個人に対する補助金・負担金	
				(6) その他	
②支出の根拠	関市農林業振興補助金交付要綱				
	農業者またはめぐみの農業協同組合				
③支出先	なし		国の負担あり	負担割合	負担額
			○ 県の負担あり	負担割合	負担額
④国・県の負担					千円
			1/4		22,154 千円
	対 象	農業者またはめぐみの農業協同組合			に対して
	手 段	産地の基盤強化や市場ニーズを見据えた流通・販売や担い手の強化に向けた取り組みへの支援			を行うことで
⑤支出の目的	受 益 者	農業者			が(を)
	意 図	儲かる農業の実現に向けた産地構造に転換し、経営の強化を図ることができる			という状態にする
⑥期 間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 26 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課	主に支出先団体	○ その他 (非該当)		
⑧構成員の負担	負担なし	負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○ 補助・負担率を定めている→補助率	県1/4・市1/10
	44,875	7,049	8,534	28,033	単価を定めている→算式	
			定額補助・負担	その他 ()		
②過去における見直し状況						
③支出先の決算状況	R3歳入決算額	22,154 千円	R3歳出決算額	22,154 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合	38.5 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	6次産業化活動支援補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
②支出の根拠	関市農林業振興補助金交付要綱					
	関市6次産業化ネットワーク協議会					
③支出先	関市6次産業化ネットワーク協議会					
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市6次産業化ネットワーク協議会				に対して
	手段	6次産業化に携わる農産物の生産者及び加工者の連携体制の構築、効果的な取組みによる新たな特産品開発、販路拡大の推進				を行うことで
	受益者	地域農業				が(を)
	意図	活性化と特産品振興に結び付く				という状態にする
⑥期間	R 3年4月1日	～	R 4年3月31日	補助・負担開始年度	平成 30年度	
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体	○その他	()	
⑧構成員の負担	負担なし	○負担あり	負担額	1会員	あたり	3,000円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	200	0	0	200	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	協議会の魅力を伝え、会員を増やす。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	地産地消		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	市内に住所及び農地を有する農家等				に対して
	手段	里芋・にんにく・たまねぎ				を行うことで
	受益者	地域の農業者				が(を)
	意図	農産物の生産・消費拡大と所得の向上を図る				という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 30 年度		
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ()	
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	0	0	0	500	○単価を定めている→算式	50,000円/10a等
					定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	1 現状のまま継続	○	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討		5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)				

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	鳥獣被害防止総合対策事業		補助金の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
				○(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠			関市農林業振興補助金	(3) 一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先			関市鳥獣害防止対策協議会	(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
					(5) 個人に対する補助金・負担金
					(6) その他
④国・県の負担	なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		○県の負担あり	負担割合	10/10	負担額
⑤支出の目的	対象	関市鳥獣害防止対策協議会・構成団体が市の鳥獣被害防止計画に基づき実施する事業			に対して
	手段	事業費の負担			を行うことで
	受益者	農業者等			が(を)
	意図	農作物への鳥獣被害を軽減し農業経営の安定化を図る			という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 18 年度	
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ()
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○補助・負担率を定めている→補助率	100%
	17,453	13,370	11,403	21,000	単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況	国の補助事業であり、国による見直しが行われている。					
③支出先の決算状況	R3歳入決算額	11,403 千円	R3歳出決算額	11,403 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	関市有害鳥獣被害対策事業補助金
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している(担当課が事務局)
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	※
	交付先の事業成果は向上しているか	※
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	鳥獣被害防止計画に基づき事業を行っているが、被害の減少は目標に達しておらず、継続的な取り組みが必要である。農地に限らず市街地にも鳥獣が出没しているが、予算(要望額)に対して交付決定額が少ないため、当年度に事業が実施できない地区がある。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市有害鳥獣被害対策事業			補助金の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)				
	②支出の根拠				関市有害鳥獣被害対策事業補助金交付要綱		(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
					(3) 一般負担金(団体等への負担金など)				
	③支出先				農作物耕作者・獣追払実施団体		(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
					(5) 個人に対する補助金・負担金				
	④国・県の負担				○なし		(6) その他		
<table border="1"> <tr> <td>国の負担あり</td> <td>負担割合</td> <td>負担額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>県の負担あり</td> <td>負担割合</td> <td>負担額</td> <td>千円</td> </tr> </table>				国の負担あり	負担割合	負担額	千円	県の負担あり	負担割合
国の負担あり	負担割合	負担額	千円						
県の負担あり	負担割合	負担額	千円						
⑤支出の目的	対象	農業者が行う耕作地への鳥獣害防護柵の設置及び地縁を形成している団体			に対して				
	手段	資材費、追払い機材の購入経費を補助(1/2、ただし柵等：上限5万円、追払い：上限10万円)			を行うことで				
	受益者	農業者及び地縁を形成している団体			が(を)				
	意図	鳥獣被害の軽減による農業経営の安定化及び市民生活の安全確保を図る			という状態にする				
⑥期間	R3年4月1日～R4年3月31日			補助・負担開始年度	平成28年度				
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体		○	その他 ()		
⑧構成員の負担	負担なし		○	負担あり		負担額	1件	あたり	1/2 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	1/2(5万円上限)	
	1,731	1,934	1,879	3,510		単価を定めている→算式		
						定額補助・負担	その他 ()	
②過去における見直し状況	予算額の減額(3,600→3,510)H29 令和3年度より、追払い器材等を補助対象とした。							
③支出先の決算状況	R3歳入決算額	1,879千円		R3歳出決算額	1,879千円		翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合			100.0%	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題	
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	獣害対策は複合的な取り組みが効果的であり、防護柵以外の対策の検討が必要である。
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	鳥獣被害防止総合対策事業交付金(国庫)	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない	多数の小規模農家を対象としているので、事業実績の把握は困難である。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	多数の小規模農家を対象としており、対策しなければ農作物が壊滅する場合もあるため効果はある。特に、山間部の農業被害は甚大で、対策が必須である。
	交付先の事業成果は向上しているか	把握していない	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	○	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討		5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	野生鳥獣の被害は深刻であるが、国庫補助事業は集落営農などが実施する大規模な事業を対象としており、小規模農家への対応が十分でなく市での対策が不可欠である。防護柵や鳥獣の追払い等の自助による防御策が有効であるため、今後も新たな取組に対して柔軟に補助対象を見直す必要がある。				

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121050
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	農業祭補助金			補助金等の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
					<input type="radio"/>	(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
					<input type="radio"/>	(3) 一般負担金(団体等への負担金など)
					<input type="radio"/>	(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
					<input type="radio"/>	(5) 個人に対する補助金・負担金
					<input type="radio"/>	(6) その他
②支出の根拠	関市農林業振興補助金交付要綱					
	中濃農業祭実行委員会・関にし秋の祭典実行委員会・津保川産業祭実行委員会・上之保ゆず祭り実行委員会、関どぶろくの会					
③支出先						
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額 千円	
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額 千円	
⑤支出の目的	対象	農業祭等の各実行委員会			に対して	
	手段	農業祭開催費用への補助			を行うことで	
	受益者	農家及び市民			が(を)	
	意図	生産意欲の向上及び地域農業の振興と農家相互の連携及び市民との交流を深める			という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度		年度		
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	その他 ()			
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	0 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	4,347	0	600	8,412	単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	<input type="radio"/> その他 (実行委員会による)
②過去における見直し状況	H22から、津保川産業祭は隔年の開催となった。					
③支出先の決算状況	R3歳入決算額	600 千円	R3歳出決算額	600 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="radio"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	事業規模に対する補助金割合を勘案し、補助金の減額を検討する必要がある。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121300
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	経営所得安定対策事務費補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		○県の負担あり	負担割合	10/10	負担額	2075 千円
⑤支出の目的	対象	関市農業再生協議会				に対して
	手段	事務に係る経費に対して補助				を行うことで
	受益者	農業者				が(を)
	意図	経営所得安定対策への加入を促進させ、農業者の所得の向上に結び付く				という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 3 年度		
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ()	
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○補助・負担率を定めている→補助率	10/10
	2,170	2,169	2,075	2,300	単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	2,075 千円		R3歳出決算額	2,075 千円	
	R2歳入に占める補助・負担金の割合	100.0 %		翌年度繰越額 0 千円		
		決算額を把握していない				

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	121700
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	学校給食地産地消推進事業補助金				補助金等の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
						(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠					関市農林業振興事業補助金交付要綱	(3) 一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先					岐阜県農業協同組合中央会	(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
							(5) 個人に対する補助金・負担金
							(6) その他
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	1/3	負担額	488 千円	
⑤支出の目的	対象	岐阜県農業協同組合中央会				に対して	
	手段	学校給食において、安心・安全な県産農産物を積極的に活用する、より身近な地域段階からの地産地消の食農教育の推進				を行うことで	
	受益者	児童・生徒				が(を)	
	意図	「食」を選択する力を習得するとともに、将来にわたって県産農産物に愛着を持つ				という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 13 年度				
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input checked="" type="checkbox"/> 主に支出先団体	その他 ()				
⑧構成員の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	<input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担率を定めている→補助率	1/3
	1,465	977	1,245	1,600	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
					<input type="checkbox"/> 定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算状況	R3歳入決算額	1,454 千円	R3歳出決算額	1,454 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合	85.6 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	地産地消の推進のため、事業を強化する必要がある。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122470
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	新規法人化組織設立支援事業				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
						(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠	関市農林業振興補助金交付要綱				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
	③支出先	農業法人				○(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	新規法人				に対して	
	手段	営農に必要な農業用機械・施設設備整備				を行うことで	
	受益者	交付要件を満たす新規法人				が(を)	
	意図	担い手の確保、農地の多面的機能の発揮、荒廃農地の発生抑制、地域農業の活性化をし経営の安定化させる				という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	～	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 30 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体		その他 ()	
⑧構成員の負担	負担なし		○	負担あり		負担額 あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	市1/2
	11,644	0	5,000	5,000		単価を定めている→算式	
						定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円	
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	○	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)				

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122470
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	集落営農組織強化支援事業			補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠				関市農林業振興補助金交付要綱	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先				農業法人、集落営農組織	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						○(5)個人に対する補助金・負担金
						(6)その他
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	農業法人、集落営農組織			に対して	
	手段	市が奨励する作物の新規栽培、農地の適正な維持管理に必要な農業用機械及び施設・設備整備			を行うことで	
	受益者	交付要件を満たす農業法人・集落営農組織			が(を)	
	意図	水田の維持による多面的機能の発揮、新たな需給調整への対応、地域農業及び地域の活性化をさせる			という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	～	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 30 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体	その他 ()	
⑧構成員の負担	負担なし		○	負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	市1/2
	10,020	110	2,507	3,000		単価を定めている→算式	
							定額補助・負担
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円	
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	○	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)				

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122470
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	農業次世代給付金給付事業補助金				補助金等の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
						(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠					(3) 一般負担金(団体等への負担金など)	
	関市農業次世代就農給付金給付要綱					(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
	③支出先					<input type="radio"/> (5) 個人に対する補助金・負担金	
	交付要件を満たす新規就農者					<input type="radio"/> (6) その他	
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/> 国の負担あり	負担割合	10/10	負担額	6,750	千円
		<input type="radio"/> 県の負担あり	負担割合		負担額		千円
⑤支出の目的	対象	新規就農者					に対して
	手段	農業次世代給付金の給付					を行うことで
	受益者	交付要件を満たす新規就農者					が(を)
	意図	就農直後の所得を確保しながら営農を継続することにより、農業の担い手になる					という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	~	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 24 年度		
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課		<input type="checkbox"/> 主に支出先団体		<input type="radio"/> その他 (非該当)		
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし		<input type="checkbox"/> 負担あり		負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率			
	14,031	12,000	6,750	8,250	単価を定めている→算式			
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	その他 ()		
②過去における見直し状況								
③支出先の決算状況	R3歳入決算額	6,750 千円		R3歳出決算額	6,750 千円		翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合			100.0 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122470
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	後継者等就農給付金事業		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)			
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)			
	②支出の根拠			関市農林業振興補助金交付要綱	(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先			交付要件を満たす新規就農者	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
					○(5)個人に対する補助金・負担金		
					(6)その他		
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額		千円
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	10/10	負担額	500	千円
⑤支出の目的	対象	18歳以上55歳未満の1年経過していない新規就農者				に対して	
	手段	後継者等就農給付金				を行うことで	
	受益者	交付要件を満たす新規就農者				が(を)	
	意図	就農直後の経営確立を支援しながら新規就農者の育成確保により、農業の担い手になる				という状態にする	
⑥期間	R3年4月1日～R4年3月31日		補助・負担開始年度		年度		
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課		<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(非該当)		
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし		<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	1,000	500	2,000	0	単価を定めている→算式	
					<input checked="" type="checkbox"/> 定額補助・負担	その他()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	<input checked="" type="checkbox"/> 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	乳用牛群能力向上事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
				(5)個人に対する補助金・負担金
				(6)その他
②支出の根拠	関市乳用牛群能力向上事業補助金交付要綱			
③支出先	関市畜産振興会酪農部会			
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額 千円
		県の負担あり	負担割合	負担額 千円
⑤支出の目的	対象	関市畜産振興会酪農部会		に対して
	手段	乳用雌牛の導入に要した費用の一部補助		を行うことで
	受益者	酪農農家		が(を)
	意図	牛群の能力向上による酪農経営の安定を図る		という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	昭和 59 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課	○主に支出先団体	その他 ()	
⑧構成員の負担	負担なし	○負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	350	350	350	350	○単価を定めている→算式	購入20,000円/頭他
					定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況	以前に500千円→350千円へ削減					
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	2,739千円	R3歳出決算額	2,739千円	翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		12.8%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	乳用牛の乳質向上のため必要である。
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	牛群の能力向上のため、これを継続したい。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	酪農家の経営の安定及び乳用牛産地の育成を図ることの役割は大きい。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	家畜伝染病や飼料の高騰、更にはTPPの加入問題など、畜産を取り巻く情勢は非常に厳しいが、市内の畜産の振興と安全で安心な牛乳の提供ができるよう、情報の共有や新たな取り組みが求められる。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	肉用牛肉質向上事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市肉用牛肉質向上事業補助金交付要綱		<input checked="" type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
③支出先	関市畜産振興会肉牛部会				
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	国の負担あり	負担割合	負担額 千円	
		県の負担あり	負担割合	負担額 千円	
⑤支出の目的	対象	関市畜産振興会肉用牛部会		に対して	
	手段	肉牛の飼養管理に要した費用の一部補助		を行うことで	
	受益者	肉用牛農家		が(を)	
	意図	肉用牛の肉質を向上する		という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	昭和 59 年度		
⑦事務局体制	<input checked="" type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="radio"/> その他 (めぐみの農業協同組合)		
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	250	250	250	250	単価を定めている→算式	
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	<input type="radio"/> その他 ()
②過去における見直し状況	以前に350千円→250千円へ削減					
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	2,379千円	R3歳出決算額	2,379千円	翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		10.5%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	肉用牛の肉質向上のため必要である。
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	健康な肉牛の飼養管理のため、これを継続したい。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	肉用牛肥育農家の経営の安定及び肉用牛産地の育成を図ることの役割は大きい。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="radio"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4 統合を検討	<input type="radio"/> 5 終期を設定	<input type="radio"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	家畜伝染病や飼料の高騰、更にはTPPの加入問題など、畜産業を取り巻く情勢は非常に厳しいが、市内の畜産業の振興と安全で安心な牛肉の提供ができるよう、情報の共有や新たな取り組みが求められる。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市畜産振興事業補助金			補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市畜産振興事業補助金交付要綱			<input checked="" type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
					(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
					(5)個人に対する補助金・負担金	
					(6)その他	
③支出先	関市畜産振興会					
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	国の負担あり	負担割合		負担額 千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額 千円	
⑤支出の目的	対象	関市畜産振興会			に対して	
	手段	事業に要した経費の一部補助			を行うことで	
	受益者	関市畜産振興会 会員			が(を)	
	意図	市内の畜産業が発展する			という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	～	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	昭和 46 年度	
⑦事務局体制	<input checked="" type="radio"/> 主に市の担当課		<input type="radio"/> 主に支出先団体		その他 ()	
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし		<input checked="" type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	500	500	400	400	単価を定めている→算式	
					<input checked="" type="radio"/> 定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況	令和3年度に500千円→400千円へ削減					
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	5,323千円	R3歳出決算額	5,268千円	翌年度繰越額	55千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		7.5%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	市内の畜産業の振興のため必要である
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	養豚、養鶏、酪農、肉牛と部会ごとの運営を行っており、これを継続したい。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	口蹄疫、鳥インフルエンザなど家畜伝染病の防疫に対する事業活動の役割は大きい。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="radio"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4 統合を検討	<input type="radio"/> 5 終期を設定	<input type="radio"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	家畜伝染病や飼料の高騰、更にはTPPの加入問題など、畜産業を取り巻く情勢は非常に厳しいが、市内の畜産業の振興と安全で安心な畜産物の提供ができるよう、情報の共有や新たな取り組みが求められる。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	効率的乳用後継牛確保対策支援事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市農業振興補助金交付要綱		<input checked="" type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
③支出先	関市畜産振興会酪農部会				
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	1/2	負担額
⑤支出の目的	対象	関市畜産振興会酪農部会			に対して
	手段	後継牛確保のための経費を補助			を行うことで
	受益者	酪農農家			が(を)
	意図	安定的な後継牛の確保により、経営の安定を図る			という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	～	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 24 年度
⑦事務局体制	<input checked="" type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ()
⑧構成員の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/>	負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	900	1,350	1,800	450	<input checked="" type="radio"/> 単価を定めている→算式	30千円/頭
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	1,800 千円	R3歳出決算額	1,800 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	乳用牛の乳質向上のため必要である。
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	牛群の能力向上のため、これを継続したい。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	酪農家の経営の安定及び乳用牛産地の育成を図ることの役割は大きい。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	家畜伝染病や飼料の高騰、更にはTPPの加入問題など、畜産業を取り巻く情勢は非常に厳しいが、市内の畜産業の振興と安全で安心な牛乳の提供ができるよう、情報の共有や新たな取り組みが求められる。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	強い畜産構造改革支援事業補助金			補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠 関市農業振興補助金交付要綱				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
					(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	③支出先 担い手畜産農家				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
					<input checked="" type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金	
	④国・県の負担				なし	国の負担あり 負担割合
<input checked="" type="radio"/> 県の負担あり				負担割合	1/4	負担額
⑤支出の目的	対象	担い手畜産農家			に対して	
	手段	生産基盤整備に要する経費の一部補助			を行うことで	
	受益者	市内畜産農家			が(を)	
	意図	新たな担い手の確保や生産基盤の強化をし、畜産主産地の維持・拡大を図る			という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日			補助・負担開始年度	平成 27 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体		<input checked="" type="radio"/> その他 (非該当)	
⑧構成員の負担	負担なし		<input checked="" type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり 6,135千円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	<input checked="" type="radio"/> 補助・負担率を定めている→補助率	対象経費の1/4
	9,872	1,858	0	109	単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況	※R3は事業採択されなかったため、支出がなかった。					
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	<input checked="" type="radio"/> 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	乳用初妊牛増頭対策支援事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠	関市農業振興補助金交付要綱		<input checked="" type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
③支出先	関市畜産振興会酪農部会					
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	1/2	負担額	195
⑤支出の目的	対象	関市畜産振興会酪農部会			に対して	
	手段	初妊牛の導入に対する補助			を行うことで	
	受益者	市内酪農農家			が(を)	
	意図	初妊牛の増頭により酪農経営の安定を図る			という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 27 年度			
⑦事務局体制	<input checked="" type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	その他 ()			
⑧構成員の負担	負担なし	負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	910	1,040	390	1,950	<input checked="" type="radio"/> 単価を定めている→算式	130千円/頭
					定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況	令和元年度に100千円→130千円に増額					
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	390千円	R3歳出決算額	390千円	翌年度繰越額	千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	飛騨牛生産基盤強化対策事業補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市農業振興補助金交付要綱				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
		③支出先	JAめぐみの				(3)一般負担金(団体等への負担金など)
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
④国・県の負担	なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		○県の負担あり	負担割合	1/4	負担額	234 千円	
⑤支出の目的	対象	飛騨牛生産者				に対して	
	手段	黒毛和種繁殖雌牛の保留又は導入に係る経費の補助				を行うことで	
	受益者	県内肉用牛生産者				が(を)	
	意図	飛騨牛の生産振興と繁殖基盤の推進を図る				という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成	26	年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	○	その他 (めぐみの農業協同組合)		
⑧構成員の負担	負担なし		○負担あり	負担額	1頭	あたり 468,000 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○補助・負担率を定めている→補助率	1/8
	58	117	117	117	単価を定めている→算式	
			定額補助・負担	その他 ()		
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	1,270 千円	R3歳出決算額	1,270 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合	9.2 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	飛騨牛の生産性向上のため必要である。
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	飛騨牛の生産基盤強化のため、これを継続したい。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	岐阜県の銘柄牛である飛騨牛の生産振興と繁殖基盤の推進を図ることの役割は大きい。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	家畜伝染病や飼料の高騰、更にはTPPの加入問題など、畜産業を取り巻く情勢は非常に厳しいが、全国でもトップクラスの評価を受ける飛騨牛が安定的に提供ができるよう、情報の共有や新たな取り組みが求められる。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	122500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	繁殖雌牛増頭支援事業		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				<input checked="" type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
②支出の根拠	関市農業振興補助金交付要綱					
③支出先	和牛繁殖雌牛農家					
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	10/10	負担額	1,000 千円
⑤支出の目的	対象	和牛繁殖雌牛農家			に対して	
	手段	繁殖雌牛の導入に対する補助			を行うことで	
	受益者	市内繁殖農家			が(を)	
	意図	繁殖雌牛の増頭により飛騨牛の生産基盤の安定を図る			という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	～	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 28 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		<input checked="" type="radio"/> 主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	2,400	1,600	1,000	1,500	<input checked="" type="radio"/> 単価を定めている→算式	100千円/頭
				定額補助・負担	その他 ()	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	1,000 千円	R3歳出決算額	1,000 千円	翌年度繰越額	千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	123002
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市森林環境保全整備事業補助金		補助金の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市森林環境保全整備事業補助金交付要綱		<input type="radio"/> (2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3) 一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5) 個人に対する補助金・負担金	
				(6) その他	
③支出先	中濃森林組合、(有)フォレスト板取、桑原木材工業ほか				
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/> 国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		<input type="radio"/> 県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	森林経営計画により造林補助金(国)を受けた林業事業者			に対して
	手段	間伐(切捨22%・利用12%)、森林作業道(開設)10%の嵩上げ補助			を行うことで
	受益者	林業事業者及び森林所有者			が(を)
	意図	負担を軽減し間伐事業等の森林整備の促進を図る			という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 17 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	<input type="radio"/> その他 (非該当)	
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし		負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	<input type="radio"/> 補助・負担率を定めている→補助率	22%・12%・10%
	17,237	14,951	26,635	24,404	<input type="radio"/> 単価を定めている→算式	
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況	平成28年4月1日付で関市森林環境保全整備事業補助金交付要綱を定め、補助金の見直しを行った。					
③支出先の決算状況	R3歳入決算額	184,162 千円	R3歳出決算額	117,856 千円	翌年度繰越額	66,306 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		14.5 %	<input type="radio"/> 森林組合以外は決算額を把握していない		

※③決算額の様子は主な支出先である中濃森林組合(事業費分のみ)を記載

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	無
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="radio"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	造林補助金の適用を受けた間伐及び森林作業道の開設に対する嵩上げ補助金であるが、間伐は5年以上経過後に繰り返し行うため、森林作業道の修復に対する補助を検討したい。また、皆伐再造林を推進するにあたり、植林・下刈り費用の所有者負担が大きく森林の更新が進んでいないため、植栽、下刈り等に対する新たな補助が必要である。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	123002
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	木の駅プロジェクト活動促進事業		補助金の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)				
	②支出の根拠	関市木の駅プロジェクト活動促進事業補助金交付要綱、清流の国ぎふ森林・環境基金事業補助金交付要綱		<input type="radio"/>	(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)			
				<input type="checkbox"/>	(3) 一般負担金(団体等への負担金など)			
				<input type="checkbox"/>	(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)			
				<input type="checkbox"/>	(5) 個人に対する補助金・負担金			
				<input type="checkbox"/>	(6) その他			
③支出先	木の駅INつぼがわ活動組織 木の駅INいたどりがわ活動組織							
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合		負担額		千円
		<input type="radio"/>	県の負担あり	負担割合	1/2	負担額	1,191	千円
⑤支出の目的	対象	板取川及び津保川上流域の「木の駅」活動組織2団体			に対して			
	手段	自ら間伐し搬出する木材に対する補助			を行うことで			
	受益者	木の駅会員及び各地域内の協力店			が(を)			
	意図	森林整備の促進及び地域通貨による過疎地域の活性化を図る			という状態にする			
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	~	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 17 年度			
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/>	主に市の担当課	<input type="radio"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ()		
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/>	負担なし	<input type="radio"/>	負担あり	負担額	1会員 あたり 1,000 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	<input type="checkbox"/>	補助・負担率を定めている→補助率		
	1,554	1,665	2,385	1,860	<input type="radio"/>	単価を定めている→算式	3,000円/m ³	
②過去における見直し状況								
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	5,127 千円		R3歳出決算額	3,561 千円		翌年度繰越額	1,566 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		46.5 %		決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	無
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/>	1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4 統合を検討	<input type="checkbox"/>	5 終期を設定	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	「木の駅」INいたどりがわ活動組織は、洞戸会員すべてが脱退し板取地区のみの活動になったため、地域通貨「いた券」の利用店舗拡充などにより板取地域の会員の維持拡大を図りたい。					

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	123004
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	産直住宅建設支援事業		補助金の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)				
	②支出の根拠	関市産直住宅普及活動支援事業補助金交付要綱		<input type="radio"/>	(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)			
				<input type="checkbox"/>	(3) 一般負担金(団体等への負担金など)			
				<input type="checkbox"/>	(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)			
				<input type="checkbox"/>	(5) 個人に対する補助金・負担金			
				<input type="checkbox"/>	(6) その他			
③支出先	(協)上之保デカ木住宅センター							
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合		負担額		千円
		<input type="radio"/>	県の負担あり	負担割合	2/3	負担額	1,625	千円
⑤支出の目的	対象	産直住宅団体						に対して
	手段	産直住宅の普及啓発活動の補助						を行うことで
	受益者	産直住宅建設業者						が(を)
	意図	産直住宅の普及及び市産材の活用促進を図る						という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	～	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成	17	年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/>	主に市の担当課	<input type="radio"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ()		
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/>	負担なし	<input type="radio"/>	負担あり	負担額	1会員	あたり	960,000 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	<input type="radio"/>	補助・負担率を定めている→補助率	75%以内
	2,044	2,438	2,437	2,438	<input type="checkbox"/>	単価を定めている→算式	
			<input type="checkbox"/>	定額補助・負担	<input type="checkbox"/>	その他 ()	
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	16,140 千円	R3歳出決算額	15,931 千円	翌年度繰越額	209 千円	
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		15.1 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	無
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/>	1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4 統合を検討	<input type="checkbox"/>	5 終期を設定	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	市産材を使った新築モデルハウスを活用したオンライン商談等により着工数を維持拡大しているが、少子高齢化により新築住宅着工数は減少していく予想です。また、ウッドショックやロシアへの経済制裁の影響で木材流通が不透明となっている中で、協同組合のメリットを活かした地域材のストック備蓄事業を行うなど、新築だけでなくリフォームや小規模改修といった木材住宅の特性を活かした新たな顧客確保に取り組んでいます。					

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	123004
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	シイタケ産地強化事業補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市農林業振興補助金交付要綱				<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
③支出先	関市椎茸振興会						
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	2/3	負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	関市椎茸振興会				に対して	
	手段	原木の購入補助				を行うことで	
	受益者	原木椎茸の生産者				が(を)	
	意図	安定的に生産販売を行い地域振興が発展する				という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	~	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 14 年度		
⑦事務局体制	<input checked="" type="radio"/> 主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ()		
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし		<input checked="" type="radio"/> 負担あり	負担額	1口 あたり	2,000 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	<input type="checkbox"/> 補助・負担率を定めている→補助率	
	348	350	327	350	<input checked="" type="radio"/> 単価を定めている→算式	10円/1本
					定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況	令和元年より県が直接20円/本を補助することとなったため、10円/本の補助金へ変更した。					
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	986 千円		R3歳出決算額	985 千円	
	R3歳入に占める補助・負担金の割合	33.2 %		翌年度繰越額 1 千円		
				決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	生産者が減少していることから、平成しいたけなどの地域の特産品を守っていくためには後継者の育成が喫緊の課題である。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	123004
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	猟友会組織育成事業				補助金の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)													
						<input type="radio"/>	(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)												
	②支出の根拠						(3) 一般負担金(団体等への負担金など)												
	③支出先						(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)												
	④国・県の負担						(5) 個人に対する補助金・負担金												
							(6) その他												
		<input type="radio"/>	なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合		負担額		千円									
		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合		負担額		千円									
⑤支出の目的	対象	関市猟友会						に対して											
	手段	事務局人件費及び支部運営費の補助						を行うことで											
	受益者	関市猟友会						が(を)											
	意図	狩猟者の安全・技術向上を図り、事務が適正に行うことで、関市の猟政(有害鳥獣捕獲事業等)が円滑に行える						という状態にする											
⑥期間	R	3	年	4	月	1	日	~	R	4	年	3	月	31	日	補助・負担開始年度	平成	17	年度
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/>		主に市の担当課		<input type="radio"/>	主に支出先団体		<input type="checkbox"/>			その他()								
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/>		負担なし		<input type="radio"/>	負担あり		負担額	1人	あたり	9,500	円							

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率		
	1,067	1,160	1,175	1,300	単価を定めている→算式		
					定額補助・負担	<input type="radio"/>	その他(人件費及び研修費用)
②過去における見直し状況	令和2年度から事業費の補助を1/2とした(要綱名称を変更)						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	22,877千円	R3歳出決算額	21,163千円	翌年度繰越額	1,714千円	
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		5.1%	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	無	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/>	1 現状のまま継続	<input type="radio"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4 統合を検討	<input type="checkbox"/>	5 終期を設定	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	狩猟及び有害鳥獣駆除活動時の銃による事故が発生していることから、関市猟友会では射撃講習会を実施し、銃器の取扱い等の習得に力を入れている。補助要綱に伴う上限金額(130万円)について、不足となることも考えられるため、増額を検討したい。					

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	123004
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	狩猟免許取得事業		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				<input checked="" type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	有害鳥獣駆除活動に参加したい市民			に対して	
	手段	新規狩猟免許の取得に係る経費の一部補助			を行うことで	
	受益者	有害鳥獣駆除活動を行う組織			が(を)	
	意図	新規の担い手育成を図り、円滑な有害鳥獣駆除活動が実施できる			という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	令和 3 年度		
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課		<input type="radio"/> 主に支出先団体		<input checked="" type="radio"/> その他 (非該当)	
⑧構成員の負担	<input checked="" type="radio"/> 負担なし		<input type="radio"/> 負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率		
	-	-	27	650	単価を定めている→算式		
					定額補助・負担	<input checked="" type="radio"/> その他 (資格取得に対して上限金額を設定)	
②過去における見直し状況	令和4年度から、猟銃所持支援を事業に加え、R3予算150千円からR4予算650千円に増額した。						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円	
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	<input checked="" type="radio"/>	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	職員対象とした県補助事業(10/10上限50万円)があるため、市職員の中で希望者があれば活用したい。
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	無	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="radio"/>	1 現状のまま継続	<input type="radio"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="radio"/>	4 統合を検討	<input type="radio"/>	5 終期を設定	<input type="radio"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	猟友会員の高齢化に伴い、特に猟銃所持者の減少が課題となっており、令和4年度から補助事業内容を見直し猟銃所持も補助対象事業に加えた。 現在の予算は2名分であるが、今後、希望者が多い場合は増額し猟友会員の育成を図りたい。					

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	124000
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市土地改良協会補助金				補助金の分類	<input checked="" type="radio"/> (1)一般補助金(団体等への補助金など)	
						<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠					関市土地改良協会運営費補助金交付要綱	<input type="radio"/> (3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先					関市土地改良協会	<input type="radio"/> (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
							<input type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金
							<input type="radio"/> (6)その他
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	関市土地改良協会				に対して	
	手段	関市の土地改良事業に関する事務及び技術援助				を行うことで	
	受益者	関市土地改良協会会員				が(を)	
	意図	協同組織により土地改良事業の適正且つ効果的な運営を確保し、共同の利益を増進する				という状態にする	
⑥期間	R3年4月1日～		R4年3月31日		補助・負担開始年度	昭和46年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ()				
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	1,500	1,500	1,500	1,500	単価を定めている→算式	
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	11,368千円	R3歳出決算額	11,082千円	翌年度繰越額	286千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		13.2%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	ある	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	124000
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	倉知水門保安管理業務委託費補助金				補助金の分類	<input checked="" type="radio"/> (1)一般補助金(団体等への補助金など)	
						<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠					倉知水門保安管理業務委託費補助金交付要綱	<input type="radio"/> (3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先					関市倉知用水土地改良区	<input type="radio"/> (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
							<input type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金
							<input type="radio"/> (6)その他
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	関市倉知用水土地改良区				に対して	
	手段	倉知水門の維持管理補助				を行うことで	
	受益者	倉知用水土地改良区				が(を)	
	意図	施設の適切且つ効果的な運営を確保し、共同の利益を増進する				という状態にする	
⑥期間	R3年4月1日～		R4年3月31日		補助・負担開始年度	平成26年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ()				
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	110	110	110	110	単価を定めている→算式	
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	118千円		R3歳出決算額	118千円	
	R3歳入に占める補助・負担金の割合	93.2%		翌年度繰越額 0千円		
				決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	ある	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	124100
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	曾代用水土地改良区補助金			補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠	曾代用水土地改良区補助金交付要綱			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
		③支出先	曾代用水土地改良区			(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
						(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						(5)個人に対する補助金・負担金	
						(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	曾代用水土地改良区			に対して		
	手段	曾代用水の維持管理			を行うことで		
	受益者	曾代用水土地改良区			が(を)		
	意図	団体の適切且つ効果的な運営を確保し、共同の利益を増進する			という状態にする		
⑥期間	R3年4月1日～		R4年3月31日	補助・負担開始年度	平成7年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他()			
⑧構成員の負担	負担なし		○負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	1,000	1,000	1,000	1,000	単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	その他()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	3,803千円	R3歳出決算額	4,090千円	翌年度繰越額	-287千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		26.3%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	ある	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
		4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)				

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	124100
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	各務用水土地改良区維持管理事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
②支出の根拠	協定(関市、各務原市、岐阜市、土地改良区)					
③支出先	各務用水土地改良区					
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	各務用水土地改良区				に対して
	手段	各務用水土地改良の維持管理				を行うことで
	受益者	各務用水土地改良区				が(を)
	意図	水路維持・居住環境の保全を図る				という状態にする
⑥期間	R3年4月1日	～	R4年3月31日	補助・負担開始年度	昭和54年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体	その他()	
⑧構成員の負担	負担なし		○	負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	160	160	160	160	単価を定めている→算式	
					○	定額補助・負担
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	4,339千円	R3歳出決算額	4,339千円	翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		3.7%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	ある	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	1 現状のまま継続	○	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討		5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	土地改良区の受益面積減少により、運営が難しくなっている。			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	124100
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	白川取水施設保全事業補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠	関市補助金等交付規則				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
		③支出先	関市木曾川右岸用水土地改良区				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
							(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
							(5)個人に対する補助金・負担金	
							(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円		
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円		
⑤支出の目的	対象	関市木曾川右岸用水土地改良区				に対して		
	手段	木曾川右岸用水施設の維持管理				を行うことで		
	受益者	関市木曾川右岸用水土地改良区				が(を)		
	意図	施設機能を保持する				という状態にする		
⑥期間	R3年4月1日～		R4年3月31日		補助・負担開始年度	平成28年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体		その他()		
⑧構成員の負担	負担なし		○	負担あり		負担額 あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	事業費×6.285%×8割
	63	63	238	238		単価を定めている→算式	
						定額補助・負担	その他()
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	298千円		R3歳出決算額	298千円		翌年度繰越額 0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		79.9%		決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	ある	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1現状のまま継続		2補助・負担内容を見直す		3縮小・減額を検討
		4統合を検討		5終期を設定	○	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)						

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	125140
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	水産業振興補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠					関市漁業振興補助金交付要綱	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
							(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	③支出先					板取支派川増殖組合	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
							(5)個人に対する補助金・負担金	
	④国・県の負担					○なし	国の負担あり	負担割合
県の負担あり					負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	板取支派川増殖組合				に対して		
	手段	魚族の増殖保護、漁場の利用に関する施設管理				を行うことで		
	受益者	水産業者				が(を)		
	意図	生活環境の保全と漁族の資源を保ち増殖事業により漁場管理の充実を計り地区の活性化に寄与する				という状態にする		
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	~	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 29 年度			
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体		その他 ()		
⑧構成員の負担	負担なし		○	負担あり		負担額 あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	2,000	2,000	2,000	2,000	単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	3,464 千円	R3歳出決算額	3,464 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		57.7 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)				

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	125140
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	清流への稚鮎放流補助金				補助金等の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)
						(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						(3) 一般負担金(団体等への負担金など)
						(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						(5) 個人に対する補助金・負担金
						(6) その他
②支出の根拠	関市漁業振興補助金交付要綱					
③支出先	長良川中央漁業協同組合					
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	長良川中央漁業協同組合			に対して	
	手段	稚鮎放流			を行うことで	
	受益者	水産業者			が(を)	
	意図	生活環境の保全と漁族の資源を保ち増殖事業により漁場管理の充実を計り地区の活性化に寄与する			という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 28 年度			
⑦事務局体制	主に市の担当課	○主に支出先団体	その他 ()			
⑧構成員の負担	負担なし	○負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	425	406	348	425	単価を定めている→算式	
					○定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算状況	R3歳入決算額	15,019 千円	R3歳出決算額	15,019 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合	2.3 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	125140
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	清流への稚鮎放流補助金				補助金等の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠	関市漁業振興補助金交付要綱				○(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
		③支出先	津保川中央漁業協同組合				(3) 一般負担金(団体等への負担金など)	
							(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
							(5) 個人に対する補助金・負担金	
							(6) その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円		
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円		
⑤支出の目的	対象	津保川中央漁業協同組合				に対して		
	手段	稚鮎放流				を行うことで		
	受益者	水産業者				が(を)		
	意図	生活環境の保全と漁族の資源を保ち増殖事業により漁場管理の充実を計り地区の活性化に寄与する				という状態にする		
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 17 年度					
⑦事務局体制	主に市の担当課	○	主に支出先団体	その他 ()				
⑧構成員の負担	負担なし	○	負担あり	負担額	あたり	円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	250	243	250	250	単価を定めている→算式	
					○ 定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算状況	R3歳入決算額	9,631 千円	R3歳出決算額	9,631 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合	2.6 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)				

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	125140
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	清流への稚鮎放流補助金				補助金等の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠	関市漁業振興補助金交付要綱				○(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
		③支出先	板取川上流漁業協同組合				(3) 一般負担金(団体等への負担金など)	
							(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
							(5) 個人に対する補助金・負担金	
							(6) その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円		
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円		
⑤支出の目的	対象	板取川上流漁業協同組合				に対して		
	手段	稚鮎放流				を行うことで		
	受益者	水産業者				が(を)		
	意図	生活環境の保全と漁族の資源を保ち増殖事業により漁場管理の充実を計り地区の活性化に寄与する				という状態にする		
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 30 年度					
⑦事務局体制	主に市の担当課	○主に支出先団体	その他 ()					
⑧構成員の負担	負担なし	○負担あり	負担額	あたり	円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	360	360	360	360	単価を定めている→算式	
					○定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算状況	R3歳入決算額	12,210 千円	R3歳出決算額	12,210 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合	2.9 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	農林課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	125140
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	水産多面的機能発揮対策事業補助金			補助金等の分類	(1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
					(2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
					(3) 一般負担金(団体等への負担金など)	
					(4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
					(5) 個人に対する補助金・負担金	
					(6) その他	
②支出の根拠	関市漁業振興補助金交付要綱					
③支出先	長良川中央漁業協同組合					
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/> 国の負担あり	負担割合	7/10	負担額	278 千円
		<input type="radio"/> 県の負担あり	負担割合	3/20	負担額	59 千円
⑤支出の目的	対象	長良川中央漁業協同組合			に対して	
	手段	漁業環境の保全活動			を行うことで	
	受益者	水産業者			が(を)	
	意図	生活環境の保全と漁族の資源を保ち増殖事業により漁場管理の充実を計り地区の活性化に寄与する			という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 30 年度			
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	その他 ()			
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	<input type="radio"/> 補助・負担率を定めている→補助率	3/20
	22	20	20	162	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
					<input type="checkbox"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算状況	R3歳入決算額	397 千円	R3歳出決算額	397 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合	5.0 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			